

令和6年度（2024年度）
社会福祉法人いなほ福祉会 通園くじら 事業報告

1. 利用登録者数と利用実績（令和7年3月末）

【利用登録者数】 20名

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	18	22	22	24	19	21	23	22	22	20	20	21	254日
延利用人数	307	383	373	374	324	381	425	366	397	350	326	372	4,378人
1日平均	17.0	17.4	16.9	18.7	15.5	18.1	18.4	16.6	18.0	17.5	16.3	17.7	17.2人

令和5年度 延利用人数 3,849人 1日平均14.7人

【送迎利用実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用人数	358	412	416	338	328	392	410	376	433	407	345	359	4,574人

令和5年度 延利用人数 4,074人

【保育所等訪問支援 利用登録者数】 2名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用人数	0	0	2	2	1	2	1	1	2	1	2	2	16人

令和5年度 延利用人数25人

【計画相談 利用登録者数】 56名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
継続支援	0	1	1	8	2	44	1	6	2	1	1	12	79人
計画作成	50	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	3	57人

令和5年度 延利用人数122名 継続支援 66人 計画作成 56人

2. 職員体制

職 種	定数	現員
管理者	1名	1名（兼務）
児童発達支援管理責任者	1名	1名
相談支援専門員	1名	2名（兼務）
訪問支援員	1名	4名（兼務）
保育士または 児童指導員	5名	4名 6名（1名兼務）
指導員		2名
看護師・准看護師		2名
給食調理員	1名	2名
送迎運転手		5名（1名兼務）

機能訓練担当職員（言語聴覚士）		2名（兼務）
発達相談員（臨床心理士）		2名（兼務）
嘱託医（嘱託職員）	（1名）	（2名）
合計	11名	33名（2名）

3. 今年度の重点方針

① 児童発達支援センターの機能強化に努めます

令和6年度は、障害福祉サービス等報酬改定において、専門職による専門的な支援の提供に取り組んだ場合に算定できる『児童発達支援センターの中核機能強化加算』が新たに創設されました。機能強化加算の算定は全国的にも稀で、通園くじらでもその条件はそろっていませんが、これまでまんぱく教室の開催による地域の子どもの発達支援、保育所等訪問支援においてのスーパーバイズ等、地域の障害児支援を行ってきた中、本年度は新たに、言語聴覚士のアドバイザー事業をあらたに展開することができました。

今まで子どものことばの遅れに関して、構音だけの課題なのか、発達課題があるのか等、保健師・保育士の中では、支援方法に迷いがあったところ、いなほ福祉会職員の言語聴覚士が保育所等を訪問し、県の巡回相談後の継続フォロー、発達に関する困り感がある子どものケースカンファレンスを行う事ができ、これにより、巡回相談後の切れ目のないフォロー及び、保育所等に通う子どもの発達支援を多職種連携で行うことができました。地域の障害児の発達支援を行うための足掛かりを構築することができたと感じています。

② 新規に主任及び児童発達支援管理責任者を登用し、保育及び家族支援の質の向上に努めます

経験年数が長く専門性のある職員を主任及び、児童発達支援管理責任者として登用しました。子どもの発達保障は毎日の保育・療育のみで行われるものではなく、育児の主体者である保護者の役割が大きく、発達に弱さがある子どもをありのまま受け入れ、愛情深くいつくしむ気持ちがより豊かな子育てにつながると考えています。保護者に心から寄り添い、かつ発達支援の専門性がある職員を登用することにより、さらに保護者に近い立場に関わることができるようになりました。保護者からは、「毎日の育児が楽しく思え、子どものスモールステップを大切なものとして捉えることができた」、また、療育の大切さを知り、「通園くじらに通ってよかった」「地域で困っているほかの子どもたちにも勧めたい」とい声が多く聞かれるようになりました。保護者に寄り添い、共感できる職員の存在は、障害をもつ子どもの人権保障や発達保障について、広く根付いてきていると感じます。

③ 5領域とのつながりを明確化した支援プログラムを作成します

令和6年度障害福祉サービス等報酬改定において、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域を明確化した支援プログラムの作成が義務とされました。障害を持った子どもは一人一人違い、一概に「〇〇ができるようになること」を求めることは、より一層保護者や当事者を苦しめることにもつながるとい危惧があります。健全な生活、整った生活リズムの確立が大変難しいからこそ、療育に通い、孤立しない子育て、みんなで共に受け止めて、愛情を注ぎ、慈しみ育てることが土台ととらえています。ありのままの子どもの存在を受容し、その中で、障害児が人生の主体者として自ら人生を営んでいけるよう、安心できる生活リズム、安心できる大人、大好きなあそび、大好きな友だちの中で、訓練ではなく「生活文化方式」としての支援プログラムをいなほ福祉会児童分野として作成し、保護者に説明を行い公表することができました。

④ 専門職の配置を進めます

ことばに関する課題は、育児をする保護者において一番の気がかりとなっています。子どもに特化した

言語聴覚士は決して多くなく、人材の確保がとても難しい中、圏域内で長年子どものことばの相談を担ってきた言語聴覚士を配置することにより、通園する子どもに対し、専門性のあることばのアセスメントを行い、専門的支援実施計画書の作成、一人一人の子どもにあった頻度での専門的支援の実施を行う事が出来ました。また、これからのことばの相談を担うべく、次世代の言語聴覚士のスーパーバイザーもおこなっています。専門的支援の実施の中で、ことばの遅れだけではなく、離乳食が進まない子ども、理解があるのにことばの遅れが心配される子どもへのアプローチも可能となりました。加えて、本年度は、臨床心理士が園に通う子どもすべての発達テスト、発達相談を行う事が出来ました。その際、市町の保健師が同席し、園の発達相談を通じて、行政との連携も図ることができました。

4. 保護者学習会の実績報告

日程	内容	講師
5月28日	保育の意味	通園くじら 保育士 西川 真智
8月20日	発達について	通園くじら 発達相談員（臨床心理士） 海野 実加
9月24日	先輩保護者のはなし	卒園児先輩保護者5名 お泊り保育報告会
11月26日	子どもへのスマホの影響	通園くじら 主任 植村 弘子
12月17日	いなほ福祉会事業所 見学ツアー	法人各事業所の管理者および担当者により対応
1月28日	『親子の笑顔を増やす 眠りの秘密～成長と健康 のために出来る事～』	くまのこころのクリニック 睡眠健康指導士(上級) 公認心理士 看護師 西山 直子 氏

5. 緊急時の対応

8月8日 巨大地震注意報の発令に伴い、プール活動を中止しました。また、欠席希望の意思確認を行いましたが、欠席希望者はいませんでした

6. 事故発生時の対応

車両事故 8月30日 買い物活動中 駐車場から出る際、縁石に乗り上げる。子ども・職員にけがなし。運転を行っていた職員への注意喚起を行いました。

骨折 1月30日 窓の開閉にて、5歳児男児が指を挟み左手人差し指を骨折する事故がありました。当日、看護師が患部を確認しましたが、受診の必要なしの判断をしましたが、翌日受診した結果、骨折している事が判明しました。対応が遅れたことについて、保護者会を開催し、謝罪と共に以下の説明を行っています。

状況：窓を開閉していたところに職員はいたが、大丈夫と思っていた。

受診：看護師に対する、状況報告に不備があり、適切な判断ができなかった。管理者も電話報告の際、ケガの具合について思い違いをした。翌日管理者と主任で、指の腫れ具合の確認、現場と事故状況の検分を行い、受診の判断をした。

対応：計4回の受診に同行。看護師による毎日の包帯の交換（1か月後に完治）。

窓に保護材をつけ、安全な環境の整備。

法人保険によるお見舞金の支給。

今後、施設内における安全計画の見直しを行い、このような事故が発生する事のないよう徹底します。

7. 虐待および身体拘束発生状況

身体拘束説明書・同意書作成 0名

【虐待案件】 0件

【身体拘束発生案件】 0件

8. 苦情解決実績報告

苦情の案件はありませんでした。

9. 職員（援助者）の援助技術の向上

(1) 職員会議の実績報告

・支援職員全体会議	→	10回開催
・グループ会議	→	18回開催
・個別支援計画策定会議	→	9回開催
・モニタリング会議	→	16回開催
・給食会議	→	12回開催

(2) 職員研修の実績報告

【内部研修】

日程	主催	研修内容	講師	参加人数
5月2日	通園めだか	「コミュニケーションの苦手な子どもたち」～自閉症スペクトラム(ASD)の視点から～	浜松学院大学短期大学部 教授 幼児教育課(兼)子ども未来創造センター長 志村 浩二 氏	14名
5月14日	通園くじら	保育の意味	通園くじら 西川 真智	3名
5月14日	通園くじら	「あなたの隣の発達障害」 資料：保田央「障害特性と関わり方」	通園くじら 保田 央	7名
6月29日	法人研修	虐待防止・人権擁護 研修	放ディほたる 仲 さより 平見ハイツ 岡本 恵子	23名
7月18日	通園くじら	安全管理・感染対策委員会 「手洗い研修」	通園くじら 植村 弘子	11名
9月19日	法人研修	「防災教育と業務継続計画の周知」 きいちゃんゲーム	那智勝浦町役場 総務課 防災対策室 藤社 祐樹氏 汐見 一希氏	4名
10月2日	通園くじら	安全管理・感染対策委員会 「ノロウイルス 訓練」	通園くじら 植村 弘子	5名
11月20日	いなほ福祉会	保育現場で生かす待遇スキル	社会福祉法人いなほ福祉会	4名
2月27日	いなほ福祉会 災害対策委員会	防災学習 「能登半島地震被災地支援の体験 談を聞く」	いなほ作業所 平澤 学	3名
3月11日	通園くじら	発達について 1. 発達を学ぶ意義 2. 幼児期の発達の道すじ	通園くじら 発達相談員 (臨床心理士) 海野 実加	10名

3. 豊かな発達のために

【外部研修】

日程	主催	研修内容	講師等	参加人数
6月2日	NPO法人 発達保健研究センター	発達と保育のための 発達診断セミナー	京都文教短期大学 張 貞京 氏 神戸大学 川地 亜弥子 氏 北九州市立大学 楠 凡之 氏	6名
6月25日	通園くじら	救命救急講習	那智勝浦町消防本部 那智勝浦町消防団	11名
6月27日	和歌山県社会福祉協議会	質の高い仕事の進め方のノウハウを学ぶ！～情報の共有化が徹底した職場がトラブルを回避する！～	株式会社紀の州コンサルティング代表取締役 濱田 智司 氏	1名
7月13日	那智勝浦町職員組合	保育部研修会 「カツリキのうたあそび&ダンス」	歌遊びユニット カツリキ	2名
7月20日	和歌山県障害児保育運動連絡会	総会記念講演会 「和歌山県障害児保育運動連絡会のあゆみ」～すべての子どもの豊かな育ちを願って～	桃郷 常務理事 船木 栄子 氏 一麦会 副理事長 田中 秀樹 氏	3名
7月28日	人間発達研究所	“実践が楽しくなる実践記録”	社会福祉法人桃郷 山本 翔太 氏 あいち障害者センター 講師 竹沢 清 氏	1名
8月3日 8月4日	全国障害者問題研究会	第58回全国大会 奈良2024 いざ、奈良。みんなとねがう いまと未来	池添 素 氏 塚田 直也 氏 富井 奈菜実 氏 原田 文孝 氏 山口 歩 氏	1名
8月8日	特別支援教育コーディネーター等連絡協議会	「集団の中で共感と自己肯定感を育む9～10歳は具体的思考から抽象的思考、論理的思考への移行期～」	くまのワーク&カレッジ 河原 京子 氏	2名
8月16日	和歌山県社会福祉協議会	アサーティブ研修 自分も相手も大切にしたい伝え方	NPO法人アサーティブジャパン会員トレーナー 堀部 三智子 氏	1名
8月31日	人間発達研究所	発達診断方法論 基礎編	木下 孝司 氏	1名
9月14日	人間発達研究所	発達診断方法論 臨床編	富井 奈菜実 氏 松島 明日香 氏	1名

10月1日	和歌山県障害福祉課	相談支援従事者現任研修	担当講師	1名
10月6日	人間発達研究所	“実践が楽しくなる実践記録” 第2回 実践記録に向けた第一歩	つくしんぼ園 発達相談員 山本 翔太氏	1名
10月29日	和歌山県障害福祉課	相談支援従事者現任研修	担当講師	1名
10月30日	和歌山県障害福祉課	令和6年度サービス管理責任者 等更新研修	担当講師	1名
11月6日	和歌山県障害福祉課	令和6年度サービス管理責任者 等更新研修（2日目）	担当講師	1名
11月17日	人間発達研究所	“実践が楽しくなる実践記録” 第3回 実践記録に向けた第一歩	つくしんぼ園 発達相談員 山本 翔太氏	1名
11月19日	和歌山県障害福祉課	相談支援従事者現任研修	担当講師	1名
11月30日	新宮保健所	「感覚を育てる」 ～ケース支援をとおして～	南紀医療福祉センター 山本 祥央作業療法士 那須 章帆作業療法士	2名
12月7日	和歌山県障害児 保育運動連絡会	和歌山県障害児保育運動連絡会 2024年度 職員研修	グループワーク	1名
12月14日	人間発達研究所	発達診断方法論 臨床編	担当講師	1名
12月16日	人間発達研究所	“実践が楽しくなる実践記録” 第4回 実践記録に向けた第一歩	つくしんぼ園 発達相談員 山本 翔太氏	1名
12月18日	和歌山県障害福祉課	相談支援従事者現任研修	担当講師	1名
12月20日	新宮・東牟婁自 立支援協議会	「ホワイトボードミーティングと は」	ちよん せいこ氏	2名
1月25日	串本町福祉課	「幼児期に大切にしたい発達の視 点」～未来につながる今を～	桃郷 相談支援事業部長 山本 翔太氏	2名
1月25日	人間発達研究所	発達診断方法論 臨床編	富井 奈菜実氏	1名
1月29日	NPO法人わか やま相談支援専 門員協会	ソーシャルワークの明日を考える ～特定相談支援事業の実践より～	有田 明菜氏 尾崎 佳奈氏 山本 忍氏 花村 篤司氏	3名
2月1日	公益社団法人 奈良県栄養士会	「発達障害児(者)の特性と偏食の 支援について」	医療法人社団湧泉会 ひまわり歯科 管理栄養士 藤井 葉子氏	2名
2月7日	NIPPON COCORO ACTION	「心のサポーター」養成セミナー	新宮保健所 精神保健福祉 士 長嶺 賢一氏	1名
2月9日	人間発達研究所	“実践が楽しくなる実践記録” 第5回 実践記録に向けた第一歩	つくしんぼ園 発達相談員 山本 翔太氏	1名
2月15日	人間発達研究所	人間発達講座 21世紀を生きるあ なたと私の発達保障	滋賀大学 白石 恵理子氏	1名

			寝屋川市立あかつき・ひばり園 安藤 史郎 氏 大阪社会保障推進協議会 事務局長 寺内 順子 氏 鹿児島大学 伊藤 周平 氏	
2月22日	人間発達研究所	発達診断方法論 臨床編	富井 奈菜実 氏 松島 明日香 氏	1名
3月1日	NHK 厚生文化事業団	わが町のインクルーシブ防災 ワークショップ	特定非営利活動法人さぼーとセンターぴあ 代表理事 青田 由幸 氏	1名
3月21日	(公社)和歌山県 栄養士会 和歌山県	特定給食施設講習会 「嚥下調整食分類2021基準と 給食施設における活用法」	さつきの家 藤井 葉子 氏	2名

10. 年間行事

日 程	内 容
4月 4日 (木)	新年度保育開始
4月 5日 (金)	入園式
4月30日 (火)	保護者会
5月14日 (火)	春の親子遠足
5月	家庭訪問
7月26日・27日	5歳児お泊り保育
8月12～15日	夏休み
8月24日 (土)	くじらまつり
10月12日 (土)	運動会
10月29日 (火)	給食参観 (にじグループ)
11月12日 (火)	給食参観 (ほしグループ)
11月16日 (土)	家族参観
12月24日 (火)	親子クリスマス会
12月28日～1月5日	冬休み
1月7日 (火)	もちつき
2月4日 (火)	生活発表会ごっこ
2月15日 (土)	生活発表会
3月11日 (火)	おわかれ遠足
3月27日 (木)	卒園式
3月28日 (金)	転園式修了式
3月29日～4月2日	春休み